

写真を取り入れた文章表現クラスさまざま

河内千春

日本語クラスにおける写真という映像メディアの取り入れ方について、実践から気づいたことをまとめてみたい。

- 1) 2001年度～2003年度の文章表現クラス（中級レベル・上級レベル）では、教師が持ってきた写真を見せて、学生たちが写真の内容を自由に読み取り、自由に文章を書くという活動を行なった。1枚の写真から様々な解釈ができることがわかった。
- 2) 2005年度の文章表現クラス（上級レベル）では、学生たちが自分で撮った写真と文章を組み合わせてブログ（日記）を作り発信した。最近の留学生たちは、毎日カメラを持ち歩き、日常生活の1コマを切り取ることに慣れているので、この活動を楽しんだ。
- 3) 2006年度～2008年度の文章表現クラス（上級レベル）では、1)と2)を組み合わせた活動として、学生たちが自分で撮った写真を他の学生たちに見せて、自由にコメントの文章を書くこと、自分の写真についての説明の文章を書くこと、編集して文集を作ることを行なった。学生たちは、写真の見方の違いを楽しみ、協力することの大切さを知り、達成感を得ることができた。
- 4) 2008年の夏期講座ワークショップ（初級レベル）では、3)と同様、学生たちが自分で撮った写真を他の学生たちに見せて、自由にコメントの文章を書き、自分の写真についての説明の文章を書くという活動を行なった。同じ活動を行なっても、初級レベルと上級レベルでは、クラスの進め方に違いがあることを再認識した。

以上のことから、写真は書きたい（伝えたい）という気持ちを引き出すことができるメディアなので、文章表現クラスには役に立つといえるだろう。